

Edward Burne-Jones  
バーン=ジョーンズ展  
——英国19世紀末に咲いた華——



《眠り姫》 連作「いばら姫」 1872-1874年頃 油彩・キャンヴァス  
ダブリン市立ヒュー・レイン美術館(ダブリン) © Dublin City Gallery The Hugh Lane, Dublin

平成 24 年 9 月 1 日〔土〕 - 10 月 14 日〔日〕 38 日間(予定)

開館時間：午前 10 時 - 午後 6 時(金・土曜日は夜間開館、午後 8 時まで)  
休 館 日：月曜日(ただし 9 月 17 日〔月・祝〕および 10 月 8 日〔月・祝〕は開館、  
翌 9 月 18 日〔火〕および 10 月 9 日〔火〕は休館) 入場は閉館 30 分前まで  
会 場：兵庫県立美術館 3 階 企画展示室

### 趣 旨

エドワード・バーン=ジョーンズ(1833~1898年)は、19世紀後半のイギリスで活躍した世紀末絵画の代表的な巨匠です。

19世紀半ば、形式化されたアカデミーの伝統に反発し、盛期ルネサンス以前の自然に忠実な絵画精神を目指して結成されたラファエル前派は、後期になると次第に象徴性、装飾性を強め、ヨーロッパの象徴主義の芸術家たちに多大な影響を与えました。後期ラファエル前派の中心的画家であったバーン=ジョーンズは、ダンテ・ゲイブリエル・ロセッティやウィリアム・モリスの影響を受けつつ、中世文学や古代神話に想を得て、甘美で幻想に富む色彩豊かな独自の絵画世界を展開し、西洋美術史で異彩を放っています。

バーン=ジョーンズの世界的権威であるランカスター大学ラスキン図書館館長のスティーブン・ワイルドマン教授、日本における英国美術の紹介者として知られる一橋大学名誉教授の河村錠一郎氏を監修者に迎えるとともに、バーン=ジョーンズ作品の屈指のコレクションを誇るバーミンガム美術館をはじめ各国の美術館やコレクターの協力を得て開催される本展は、日本では初めての本格的なバーン=ジョーンズ展となります。

主催 兵庫県立美術館、産経新聞社、神戸新聞社

後援 ブリティッシュ・カウンシル、兵庫県、兵庫県教育委員会、神戸市、神戸市教育委員会、サンケイスポーツ、夕刊フジ、サンケイリビング新聞社、関西テレビ放送、サンテレビジョン、ラジオ大阪、ラジオ関西、Kiss FM KOBE

協力 日本航空

観覧料 一般 1300(1100)円、大学生 900(700)円、高校生・65歳以上 650(550)円、中学生以下無料  
( )内は前売料金および20名以上の団体割引料金(高校生・65歳以上は前売なし)  
障害のある方とその介護の方(1名)は各当日料金の半額(65歳以上除く)  
前売券は8月31日(金)まで販売します。会期中は前売券を販売しません。  
前売券販売場所:チケットぴあ(Pコード:765-311)、ローソンチケット(Lコード:56488)  
ほか京阪神の主要プレイガイドなど  
8月19日(日)まで「カミーユ・ピサロと印象派」展との特別セット券(2000円)を  
当館窓口及びBBプラザ美術館にて販売

#### クールスポットのお知らせ

9月22日(土)までのクールスポット期間中、本展の有料ご観覧者には、10月27日(土)より開催の特別展「キュレーターからのメッセージ2012 現代絵画のいま」の特別招待券を進呈します。

出品物 油彩 17点、水彩画約 30点、素描約 20点、  
タペストリー 2点、版画 3点、書籍約 10点など(予定)

#### 展覧会構成

本展は、バーン＝ジョーンズの芸術を以下の12のパートに分けて概観します。

##### 旅立ち 「地上の楽園」を求めて

バーン＝ジョーンズは、友人ウィリアム・モリスの作った商会の製品ののために、様々な装飾デザインを制作するとともに、それらをもとに独立した絵画や大規模な装飾画を描くという制作スタイルをとりました。本章では、バーン＝ジョーンズの画家としての出発点の状況を紹介します。



《慈悲深き騎士》1863年 水彩、グワッシュ・紙  
バーミンガム美術館 ©Birmingham Museums

##### チャオサー 「薔薇物語」と愛の巡礼

イギリス近代文学の祖チャオサーは、バーン＝ジョーンズとモリスがオクスフォード大学の学生だった頃からの愛読書でした。ここでは、タペストリー《巡礼を導く「愛」》など、チャオサーの『薔薇物語』に関連する作品を紹介します。

### 聖ゲオルギウス 龍退治と王女サブラ救出

バーン＝ジョーンズは、学生時代にジョン・ラスキンとの知遇を得て、15世紀イタリア絵画に関心を抱きました。中でもヴェネツィア派の画家カルパッチョの《聖ゲオルギウスと龍》から大きな影響を受け、同じ主題に基づく連作絵画を制作しました。



《闘い・龍を退治する聖ゲオルギウス 連作「聖ゲオルギウス」(全7作品中の第6)》1866年 油彩・キャンヴァス  
ニュー・サウス・ウェイルズ美術館、シドニー

### クピドとプシュケ キュービッドの恋

1860年代にウィリアム・モリスは自作の詩「地上の楽園」を出版する計画をたて、バーン＝ジョーンズが挿絵を任されました。後年、そのデザインは絵画や室内装飾へと発展していきます。本章では、そうした室内装飾の代表的作例である《クピドとプシュケ》を紹介します。

### トロイ戦争 そして神々

本展の第4章、第7章、第8章で取り上げるように、ギリシャ・ローマ神話は、バーン＝ジョーンズにとって中世文学と並ぶ素材の宝庫でした。本章では、トロイの物語などその他の主題の作品を紹介します。



《ステュクス河の靈魂》  
1873年頃、油彩・カンヴァス P.&R. ナフム

### 寓意・象徴 神の世界と人の世界

バーン＝ジョーンズは、19世紀後半に広くヨーロッパに広がった象徴主義を代表する画家のひとりです。本章では、彼の寓意画の最高傑作《運命の車輪》を筆頭に、バーン＝ジョーンズ作品における様々な寓意と象徴に注目します。



《運命の車輪》1871-1885年 油彩・キャンヴァス  
ナショナル・ギャラリー・オヴ・ヴィクトリア(メルボルン)  
Photo: NGV Photo Services

### ピグマリオン 「マイ・フェア・レディ」物語

自作の彫像に恋した彫刻家を主人公とするピグマリオン伝説をウィリアム・モリスが物語詩に翻案、それを元にバーン＝ジョーンズは4点の油彩画からなる連作を完成させました。彫像のモデルとなったのは、バーン＝ジョーンズの愛人であったギリシャ人女性 maria・ザンバコです。



《ピグマリオンと彫像 - 女神のはからい》1878年 油彩・キャンヴァス  
バーミンガム美術館 ©Birmingham Museums

### ペルセウス 大海蛇退治と王女アンドロメダ救出

バーン＝ジョーンズは 1875 年、後にイギリスの首相となる政治家アーサー・バルフォア邸のために、英雄ペルセウスの冒険物語を描いた一連の装飾絵画の制作を計画しました。本章では、未完に終わったこの構想の一部を紹介します。



《果たされた運命：大海蛇を退治するペルセウス》 連作「ペルセウス」  
1882年頃、グワッシュ・紙 サウサンプトン市立美術館  
©Southampton City Art Gallery, Hampshire, UK / The Bridgeman Art Library

### いばら姫 「眠れる森の美女」の話

古くからの伝承である「眠り姫」の物語は、バーン＝ジョーンズがおよそ 30 年に渡って描き続けた重要な主題です。本章では、このテーマに基づく 2 番目の連作のための習作群と 3 番目の連作に含まれる完成作を展示、甘美な幻想に満ちたバーン＝ジョーンズ芸術の真髄をご覧ください。



《眠り姫》 連作「いばら姫」 1872-1874年頃 油彩・キャンヴァス  
ダブリン市立ヒュー・レイン美術館（ダブリン） © Dublin City Gallery The Hugh Lane, Dublin

### 旅の終わり アーサー王・聖杯・キリスト

バーン＝ジョーンズは、ロマン主義者であるとともに、敬虔なクリスチャンでした。例えば、彼が幾度も手掛けた教会のステンドグラスのデザインは、彼の芸術家としての創作意欲と深い信仰心に根ざしています。本章では、キリスト教とそれと関連性の強い中世説話を主題とする作品を紹介します。

### ポートレート 画家と自画像

バーン＝ジョーンズは、自らを正面きって描いた自画像を残していませんが、かわりにペンによるカリカチュアはいくつか残っています。ここでは、そうした風刺的自画像のひとつと、同時代の画家ジョージ・フレデリック・ワッツが描いたバーン＝ジョーンズの肖像画を見比べていただきます。

### 書籍 学生出版から世界最美の本へ

バーン＝ジョーンズは生涯に渡って書物と関わりを持ち続けた芸術家でした。特に、モリスが設立したケルムスコット・プレスからは、バーン＝ジョーンズの装丁や挿絵による美本の数々が刊行されました。ここでは、世界で最も美しい本とも評される『チョーサー著作集』など代表的な書物をご紹介します。

## 関連行事

### 記念講演会「バーン＝ジョーンズとウィリアム・モリス イギリス世紀末の美学」

講師：河村錠一郎 氏（一橋大学言語社会研究科名誉教授）

9月16日(日) 午後2時より約90分

ミュージアムホールにて 聴講無料（定員250名・要観覧券チケット）

### 学芸員による解説会

9月22日(土・祝)、10月6日(土) 午後4時より約45分

レクチャールームにて 聴講無料（定員100名）

### ボランティアによる解説

会期中毎週日曜日午前11時より約15分

レクチャールームにて 聴講無料（定員100名）

### おやこ解説会「バーン＝ジョーンズさんのファンタジー・ワールド」

9月8日(土) 午後1時30分より約30分

レクチャールームにて 聴講無料（定員100名）

### 記念コンサート「音楽でつづるイギリス」

共催：アートフュージョン実行委員会

出演：ヴォーカルユニット SAKURA

9月29日(土) 午後2時より約90分

アトリエ1にて 入場無料（定員150名・要観覧券チケット）

## お問い合わせ先

---

兵庫県立美術館 〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1丁目1番1号

ホームページ <http://www.artm.pref.hyogo.jp>

【企画内容に関すること】担当学芸員 岡本 弘毅 / 相良 周作

tel: 078-262-0909 (学芸直通) fax: 078-262-0913

【取材・写真提供に関すること】営業・広報グループ

tel: 078-262-0905 (営業・広報直通) fax: 078-262-0903

## 広報用画像について

---

このプレスリリースに掲載されている画像データをプレス掲載用にご用意しております。別紙の申込書をご使用ください。

Edward Burne-Jones  
バーン=ジョーンズ展  
——英国19世紀末に咲いた華——

営業・広報グループ 宛  
F A X ( 0 7 8 ) 2 6 2 - 0 9 0 3

ご希望の写真の番号に をつけてください。後日お送りいたします。また、読者・視聴者プレゼント用招待券(最大 10 組 20 名まで)もご用意しております。ご希望の場合は、ご請求ください。

番号	作家名・作品名・制作年・素材・その他(クレジット等)
1	《慈悲深き騎士》 1863 年 バーミンガム美術館 ©Birmingham Museums
2	《闘い・龍を退治する聖ゲオルギウス 連作「聖ゲオルギウス」(全 7 作品中の第 6)》 1866 年 ニュー・サウス・ウェイルズ美術館、シドニー
3	《ステュクス河の靈魂》 1873 年頃 P.&R. ナフム
4	《運命の車輪》 1871-1885 年 ナショナル・ギャラリー・オヴ・ヴィクトリア(メルボルン) Photo: NGV Photo Services
5	《ピグマリオンと彫像 - 女神のはからい》 1878 年 バーミンガム美術館 ©Birmingham Museums
6	《果たされた運命：大海蛇を退治するペルセウス》 連作「ペルセウス」 1882 年頃 サウサンプトン市立美術館 ©Southampton City Art Gallery, Hampshire, UK / The Bridgeman Art Library
7	《眠り姫》 連作「いばら姫」 1872-1874 年頃 ダブリン市立ヒュー・レイン美術館(ダブリン) © Dublin City Gallery The Hugh Lane, Dublin

上記図版を媒体掲載される際には、上記作品名、制作年等を必ず記載してください。

貴社名			
媒体名	新聞・雑誌・ミニコミ TV・ラジオ・インターネット		
ご担当者名			
ご住所	〒		
電話番号		F A X	
メールアドレス	@		
URL			
掲載・放送予定日			
写真到着日希望			
読者・視聴者プレゼント用招待券(最大 10 組 20 名まで本展を媒体でご紹介いただける場合に限ります)	組 名分希望		
メールマガジンをお持ちですか?	はい ・ いいえ		
メールリストをお持ちの場合、当館の展覧会・イベント情報等を送信していただく事は可能ですか?	可 ・ 不可		

写真データ使用は、本展覧会の紹介用のみとさせていただきます。それ以外での使用はできませんので、ご了承ください。本展に関する記事をご掲載いただきました際には、お手数ですが、掲載誌・紙または記録媒体(VTR/DVD)などを、下記宛にお送りくださいますようお願い申し上げます。

本展覧会場での取材、撮影をご希望の場合は、上記までご連絡ください。事前にご連絡のない取材・撮影はお断りいたします。